

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	-	-	-
		スーパー（財務担当）	販売量の動き	・既存店売上高を前年と比較すると、3か月前は100.2%であったが、今月は101.2%と、1ポイント良くなっている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・暑さの影響で、特に飲料関係の伸びが良く、売上増につながった。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・今月は猛暑が続いたので、来客数が増え売上も予想より良かった。他店に聞いても同じような状況である。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・オリンピック需要と猛暑で、夏物商品の売行きが非常に良かった。
		家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・先月と同様、エアコン、テレビの売上が好調である。その他の商品では、冷蔵庫、洗濯機の売上は少し減っているが、パソコン、DVDといった商品が前年より良い。
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・猛暑の影響により、ショールームへの来客数が増えた。新型車投入の効果もあり、売上が上向いている。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・お中元時期ということで、ギフト商品がよく売れている。また、猛暑の影響で、飲物などもよく売れており、客の動きが非常に良い。
変わらない		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・夏休みの家族旅行の相談が多かった。その内訳は国内が中心であるが、昨年よりは海外旅行の申込みも増えた。 ・北海道への直行便が新設されたため、特に北海道への旅行が個人、団体ともに増えた。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・紳士服の売上は7月の前半は良かったが、後半に入ってから、猛暑の影響により、来客数が減るとともに客の購買意欲が落ちてきている。
		百貨店（総務担当）	お客様の様子	・一つの商品を購入するのに、他の店を何軒も回って決める客が増えている。また、格安の商品を企画し売り出すと、それに売上が集中する傾向があり、価格に対して非常にシビアな状況が続いている。
		スーパー（企画担当）	単価の動き	・猛暑の影響で夏物衣料は昨年を上回っている。個別の商品では行楽レジャー用品やエアコン、扇風機などは30%以上、飲料水も10%程度昨年より売れているが、牛、鶏といった肉関係が10%弱落ち込んでいる。トータルでの既存店売上は前年比3.6%プラスとなっているが、客単価では若干のマイナスとなっている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・来店客数は前年より少し多いが、逆に客単価は7~8%低下している。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・7月から始まったバーゲン、初日から3日目くらいまでは盛況であったが、その後、売上は急速に落ち込んでおり、例年に比べて来客数も少ない。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・来客数や販売量は変わらないが、この猛暑によって、売れ筋の商品がTシャツからタンクトップ、ジーンズからショートパンツへと変わったため、単価が低下している。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・7月の販売台数は前年を確保したものの、値引き競争が厳しく、1台あたりの利益率が低下している。
		一般レストラン（経営者）	単価の動き	・来客数は多少増えたが、客単価は低く、売上は伸びていない。
		設計事務所（所長）	お客様の様子	・100円パーキングの利用率が下がっている。
やや悪く なっている		一般小売店〔乾物〕（店員）	販売量の動き	・中元の売上減少が止まらない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・暑くなり乗車客数は増えたが、乗車距離は短い。週末の金・土は人が歓楽街に多少出ているが、それ以外はあまりみられない。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・金利上昇の影響もあり、住宅の買控え感がうかがえる。
		その他住宅〔不動産〕（経営者）	競争相手の様子	・土地の値下がりのために、仲介手数料が減少している。また、賃貸物件の借手が少なくなっている。

	悪く なっている	美容室（経営者）	来客数の動き	・7月は猛暑と選挙の影響により来客数が極端に減った。
企業 動向 関連	良く なっている	木材木製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新規開拓、新製品の売り込みが功を奏している。
	やや良く なっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ダイオード関連の工場が非常に好調で、設備を増強しており、その企業からの受注増で仕事は増えている。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・飲食料関係の荷主企業では、猛暑の影響により海洋深層水関連の飲料や麦茶を始めとする季節商品が、前年比で大幅な出荷増となっており、製造が追い付かない状況である。
		通信業（営業担当）	それ以外	・客との対話のなかで、「夏物商品の売行きが良い」、「デジタル家電など、目にみえて高価なものが売れている」との声を聞くことが多くなった。
	変わらない	一般機械器具製造業（経理担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注価格が低下し、販売量も伸びない。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・パソコン関係の売行きが非常に悪く、商品単価が下がってきている。
		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・公共、民間工事ともに、受注できたとしても非常に安い価格での仕事が多い。
		公認会計士	取引先の様子	・取引先の財務内容、あるいは収益の状況等を3か月前と比較すると、ほとんど変わらず、やや悪くなっている感じがする。
	やや悪く なっている	化学工業（営業所長）	取引先の様子	・原材料の価格が上がっても、エンドユーザーへ価格転嫁ができないため、原材料の買控えが急激に出てきている。
	悪く なっている	建設業（総務担当）	競争相手の様子	・公共工事の発注が極端に少なくなっている。
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年に比べ、10か月連続して増加し、ここ3か月間は2けた台の増加となっている。サービス業からの求人で、業務請負業、警備業、労働者派遣事業、社会福祉関連事業で求人が増加している。なお、参議院選挙関連の大口求人もあった。
	変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・本来なら、夏のボーナスセールとかいうことで、多少なりとも広告宣伝費を投下しなければならない時期であるが、通常の月と同じである。広告のタイトルからも「ボーナスセール」など「ボーナス」という言葉がなくなった。
		職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・求人そのものは増加しているものの、相変わらず、派遣業、請負業からの求人であり、雇用形態自体、不安定なものが多い。正社員の求人の伸びはあまりみられない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・パートを含む新規求人は、前年同月比で11.8ポイントのプラスとなったが、新規求職者も増加しており、有効求人倍率は前月と同じ0.49倍にとどまっている。
	やや悪く なっている	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・中小企業の管理職となる人材の採用が一段落した。その影響もあって、やや悪くなっている。
	悪く なっている	-	-	-